

150 Years of Innovation



株式会社島津製作所

(東証プライム市場：証券コード7701)

2026年3月期

第1四半期決算説明会

常務執行役員 前田愛明

2025年8月7日

第1四半期 増収増益

売上高・営業利益とも前年および当社想定を上回って増加

- ・【売上高】 **1,184億円（前年同期比+1%）**：5期連続で1Q過去最高を更新
- ・【営業利益】 **122億円（前年同期比+11%）**

セグメント別

- ・計測：増収増益 / 売上高は5期連続で1Q過去最高を更新 **19%増益**
- ・医用：減収減益 / 受注残が少なかったことから厳しく推移
- ・産業：減収利益横ばい/為替影響を除けば増収増益
- ・航空：増収増益 / 売上高・営業利益とも1Q過去最高を更新

通期目標

- ・8月以降の関税率改定による世界経済および当社事業への影響が不透明であり
現時点では通期目標は売上高・営業利益とも据え置く

01 決算概要

	単位：億円	第1四半期(4月-6月)		前年同期比	
		FY2024	FY2025	増減額	増減率
業績	売上高	1,169	1,184	+14	+1%
	営業利益	110	122	+12	+11%
	営業利益率	9.4%	10.3%	+0.9pt	
	経常利益	137	113	▲24	▲17%
	親会社株主に帰属する当期純利益	100	79	▲21	▲21%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	155.9	144.6	▲11.3	▲7%
	ユーロ(円)	167.9	163.8	▲4.1	▲2%
	研究開発費	68	73	+4	
	設備投資額	42	54	+12	
	減価償却費	48	50	+2	

為替影響額

売上高：▲50億円

営業利益：▲8億円



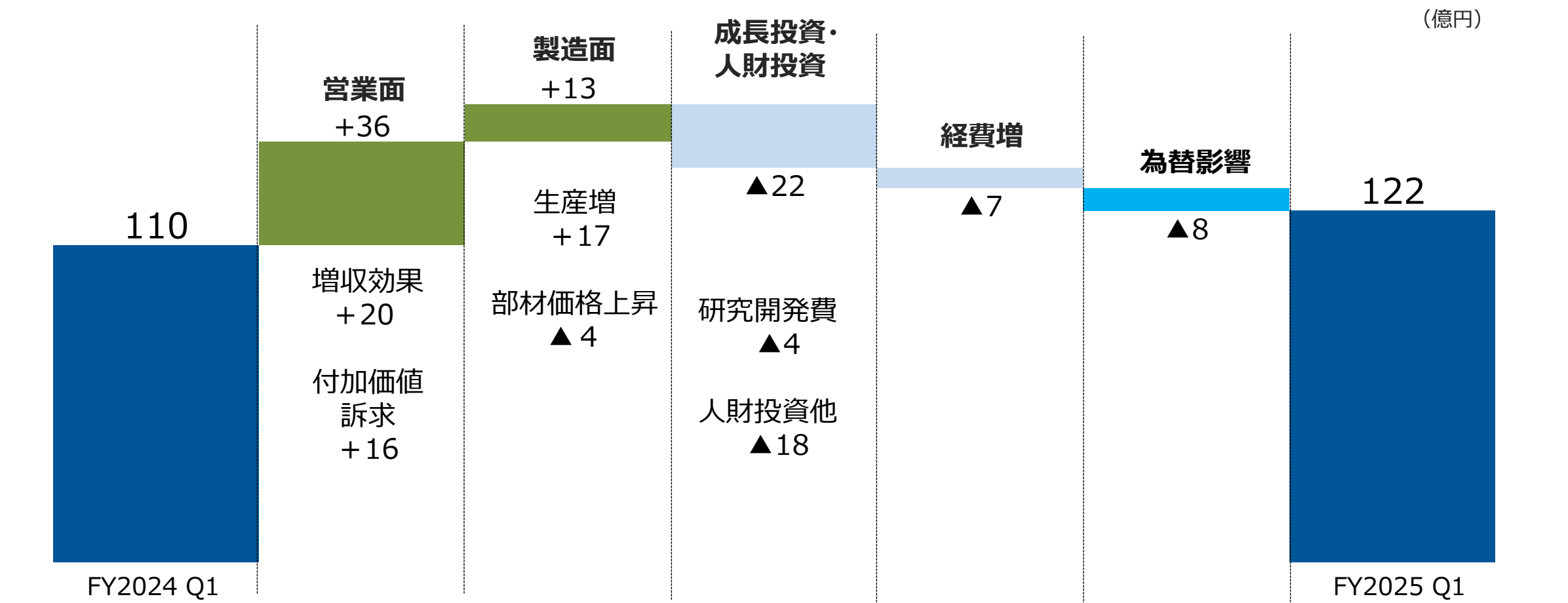
為替差損益：▲36億円

(売上高、営業利益は平均為替レートで、
為替差損益は期末レートで計上)

FY2024 1Q：為替差益+24億円
期末レート 3月末・1ドル151円→6月末・161円
FY2025 1Q：為替差損▲13億円
期末レート 3月末・1ドル150円→6月末・145円

連結 / 営業利益増減要因

■ 営業面	: 増収による効果と付加価値訴求で増加	+36億円
■ 製造面	: 部材価格は上昇したが生産増による工場業績向上により増加	+13億円
■ 成長投資	: 研究開発費、人財投資などの成長投資	▲22億円



セグメント別損益

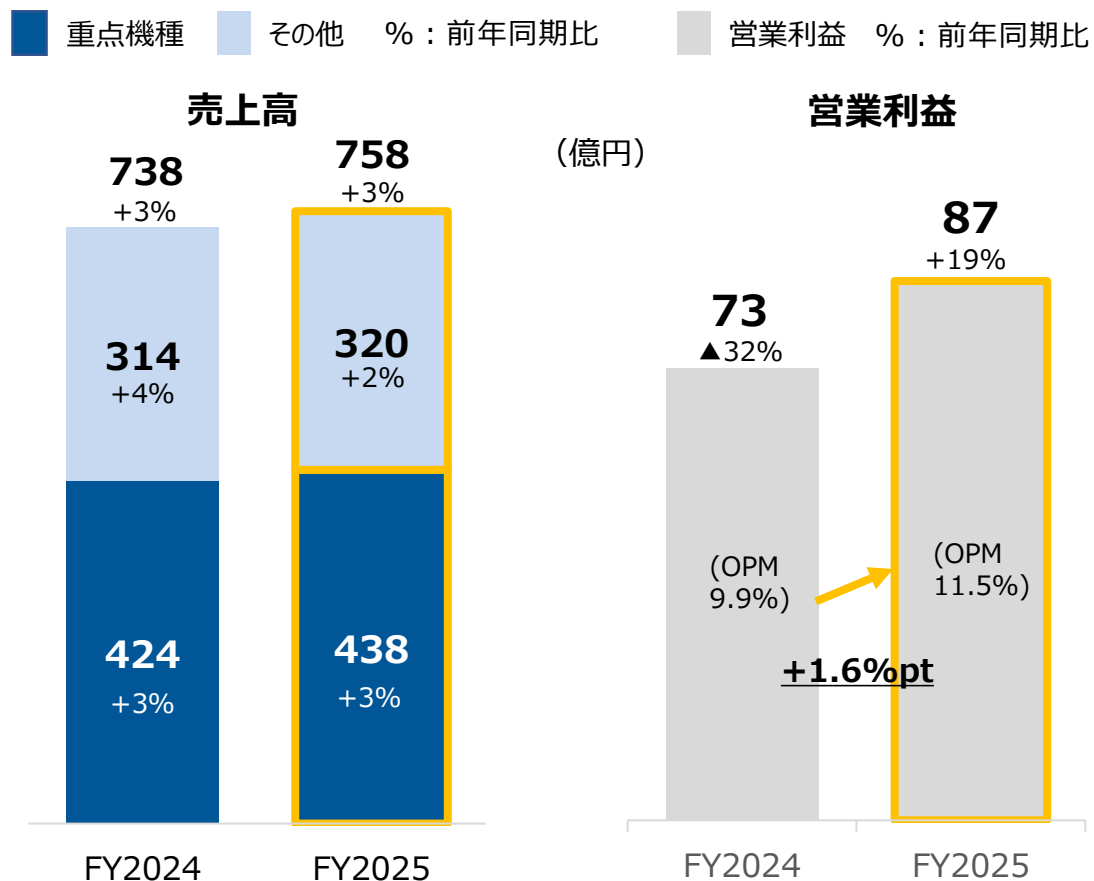
- 計測：増収増益 売上高 過去最高
- 医用：減収減益

- 産業：減収利益横ばい 除為替 増収増益
- 航空：増収増益 売上高・営業利益 過去最高

単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2024	FY2025	前年同期比		FY2024	FY2025	前年同期比		FY2024	FY2025	前年同期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	738	758	+20	+3%	73	87	+14	+19%	9.9%	11.5%	+1.6pt
医用機器	155	137	▲18	▲11%	1	▲8	▲8	-	0.5%	-5.5%	▲6.0pt
産業機器	175	168	▲7	▲4%	27	26	▲0	▲0%	15.2%	15.7%	+0.6pt
航空機器	87	99	+12	+14%	13	21	+7	+55%	15.2%	20.7%	+5.5pt
その他	15	22	+7	+48%	▲2	2	+4	-	▲8.6%	8.8%	+17.4pt
調整額			-	-	▲3	▲7	-	-	-	-	-
合計	1,169	1,184	+14	+1%	110	122	+12	+11%	9.4%	10.3%	+0.9pt

計測機器 / 売上高・営業利益

- 売上高 : 重点機種、その他機種ともに過去最高を更新
- 営業利益 : 増収の効果などにより増益。営業利益率は1.6pt改善



重点機種 売上高 438億円

- ・ 為替影響により前年同期比 +3%にとどまる (除為替 +9%)
- ・ 日本の化学市場でLC、北米臨床市場でMSが増加

その他 売上高 320億円

- ・ 中国やインドで官庁/大学向けに表面観察システムが好調

リカーリング 売上高 317億円 (前期比+5%)

- ・ リカーリング売上高比率 42% (対前年同期+1pt)
- ・ 米国Zef社連結効果でサービスが増加

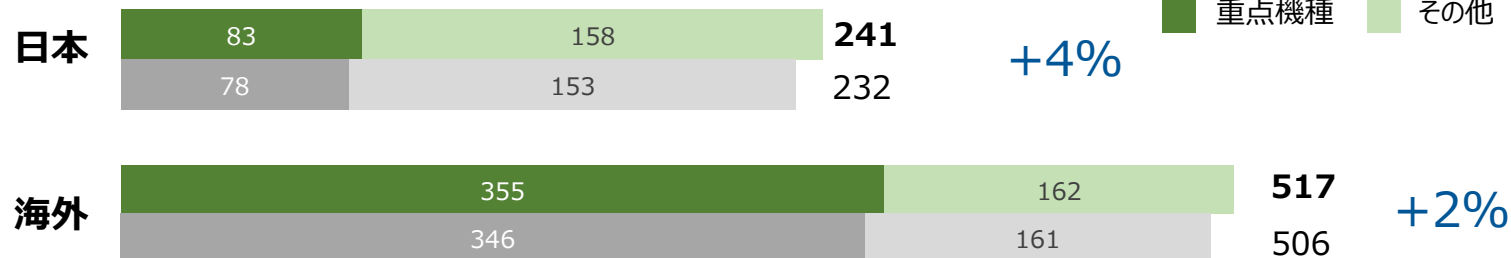
計測機器 / 地域別売上高

- 日本：241億円で+4%
- 海外：517億円で+2%。中国の売上減少を北米、その他のアジアやインドを中心に他地域でカバー
海外売上高比率は0.4%減の68.2%。 中国比率は2.6pt低下し22%

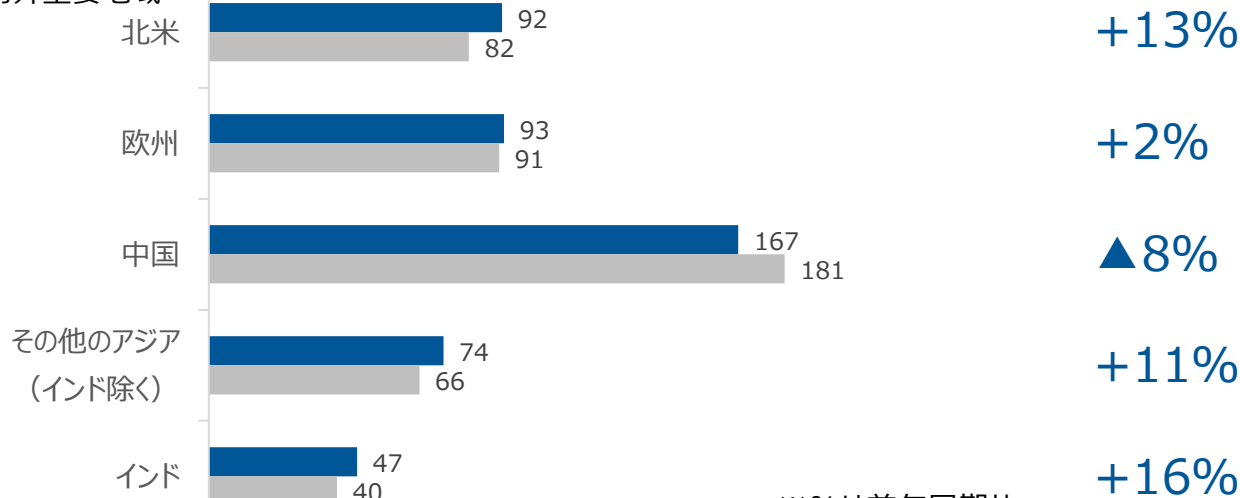
地域別売上高（億円）

上段：FY2025 下段：FY2024

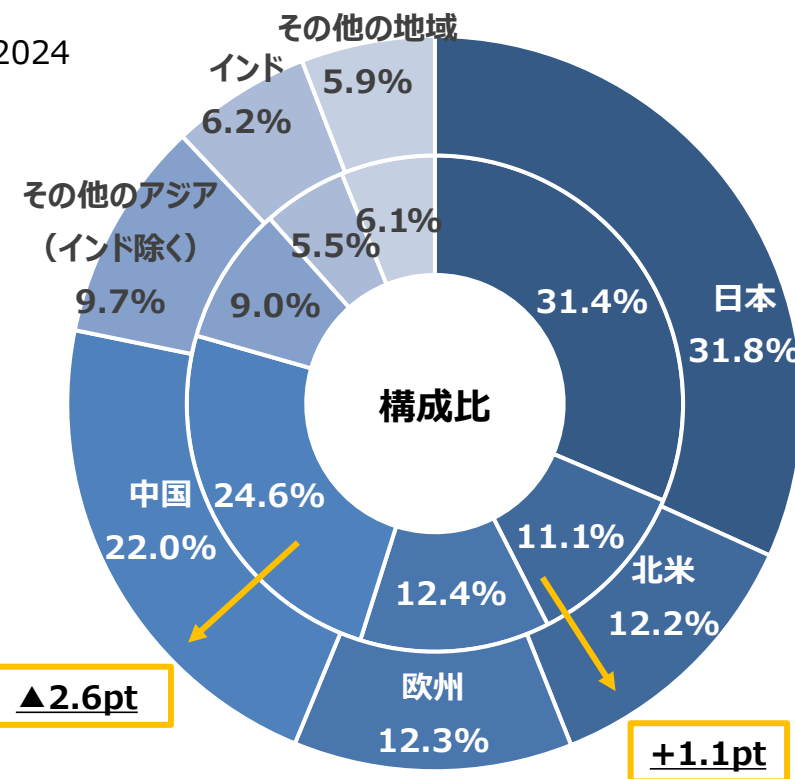
重点機種 その他



海外主要地域



※%は前年同期比



※円グラフ： 外側 FY2025実績 内側 FY2024実績

医用機器 / 売上高・営業利益

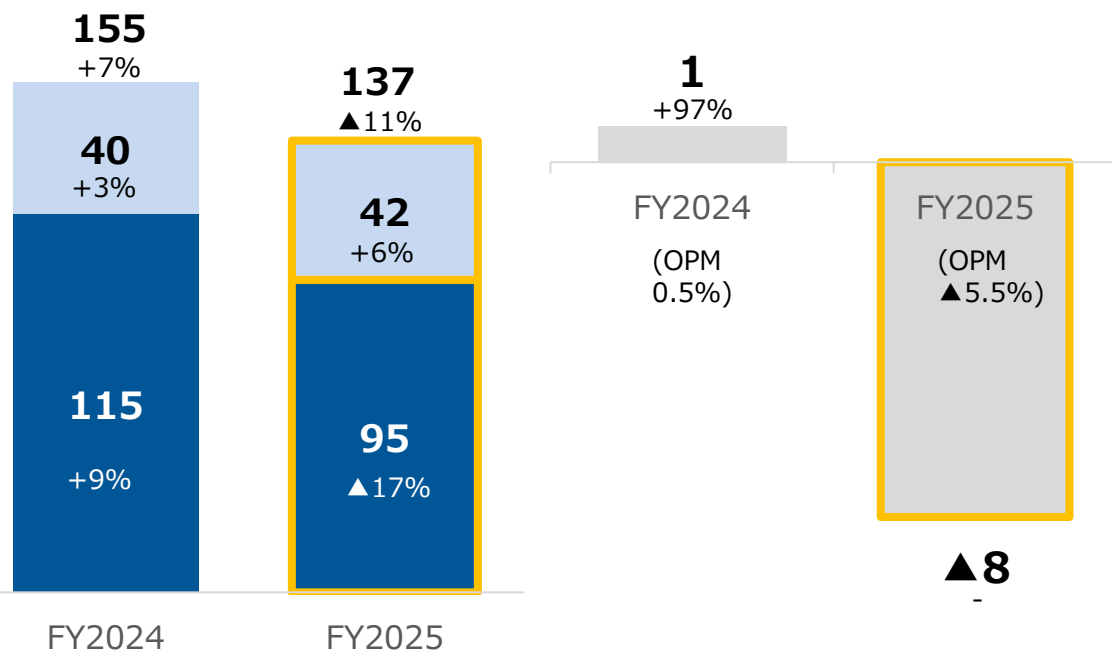
- 売上高 : X線機種は減少、その他機種は増加
- 営業利益 : 売上減、プロダクトミックス悪化などにより減益

■ X線機種 ■ その他 % : 前年同期比 ■ 営業利益 % : 前年同期比

売上高

(億円)

営業利益



X線機種

売上高 95億円

- ・ 受注残高が少なかったことにより厳しく推移。
- ・ 撮影機種の受注は過去最高。

その他

売上高 42億円

- ・ 放射線治療支援システムが日本で増加

リカーリング

売上高 65億円 (前期比+2%)

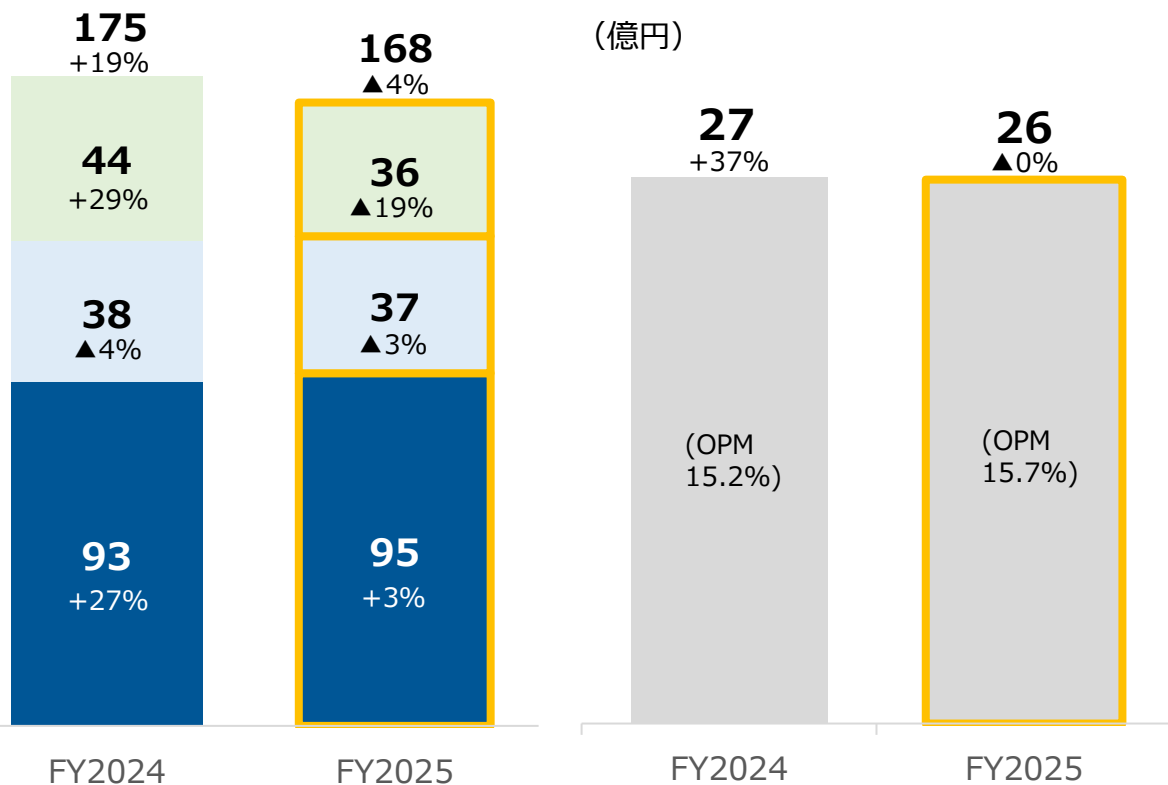
- ・ リカーリング売上高比率 47% (対前期+6pt)
- ・ 北米、アジアで順調に増加

産業機器 / 売上高・営業利益

- 売上高 : 半導体製造装置（以下SPE）向けTMPは増加、油圧機器や工業炉が減少
- 営業利益 : TMPのリカーリング比率向上により粗利率改善も、為替影響により微減

■ TMP ■ 油圧 ■ その他 % : 前年同期比 ■ 営業利益 % : 前年同期比

売上高 営業利益



TMP 売上高 95億円

- SPE向けが日本、欧州で減少するも、中国、韓国で増加
- SPE向けサービスが増加

TMPリカーリング 売上高 20億円 (前期比+18%)

- TMPリカーリング売上高比率 21%(対前期+3pt)

油圧 売上高 37億円

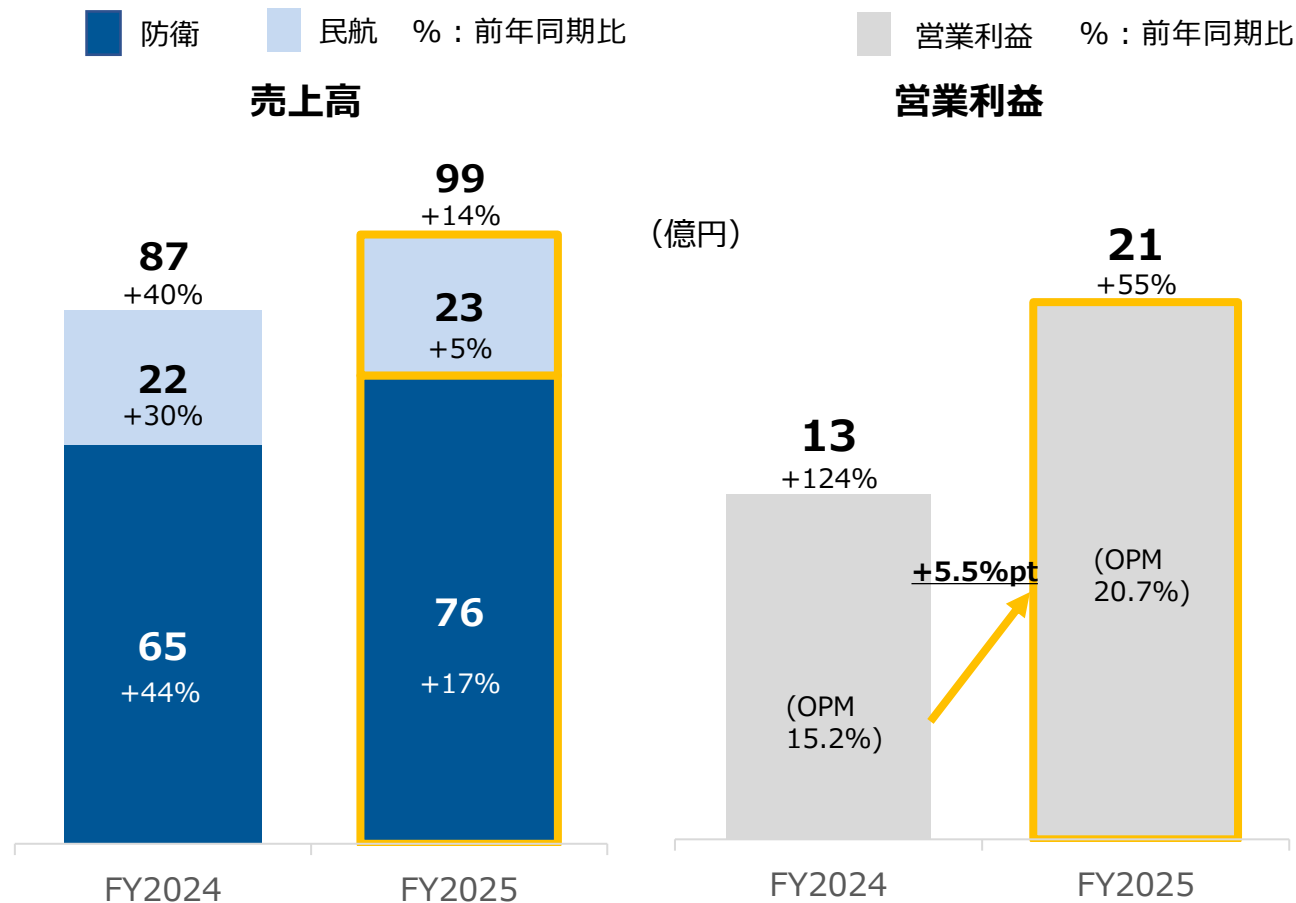
- 産業車両向けの市況が弱含みで推移

その他 売上高 36億円

- 工業炉が減少

航空機器 / 売上高・営業利益

- 売上高 : 防衛向け、民間航空向けとも増加
- 営業利益 : 増収効果により大幅増益



防衛 売上高 76億円

- 政府の防衛力強化方針により需要が拡大

民航 売上高 23億円

- 民間航空機向け搭載品や航空会社向け補用部品が増加

02 トピックス

- ・計測機器事業の状況
 - ・地域別受注
 - ・中国事業の進捗
- ・新製品上市の状況

＜関税の影響＞

日本では自動車を中心としたサプライチェーンで影響を受けたが、他の地域では大きな影響を受けていない

地域別受注高 前年同期比

為替影響を除く	FY2024 4Q	FY2025 1Q
日本	10～13%	0～3%
北米	17～19%	30～33%
欧州	0～3%	14～16%
中国	20～23%	7～9%
その他のアジア	17%～19%	7～9%
内数 インド	47%～49%	14～16%
計測全体	10%～13%	7～9%

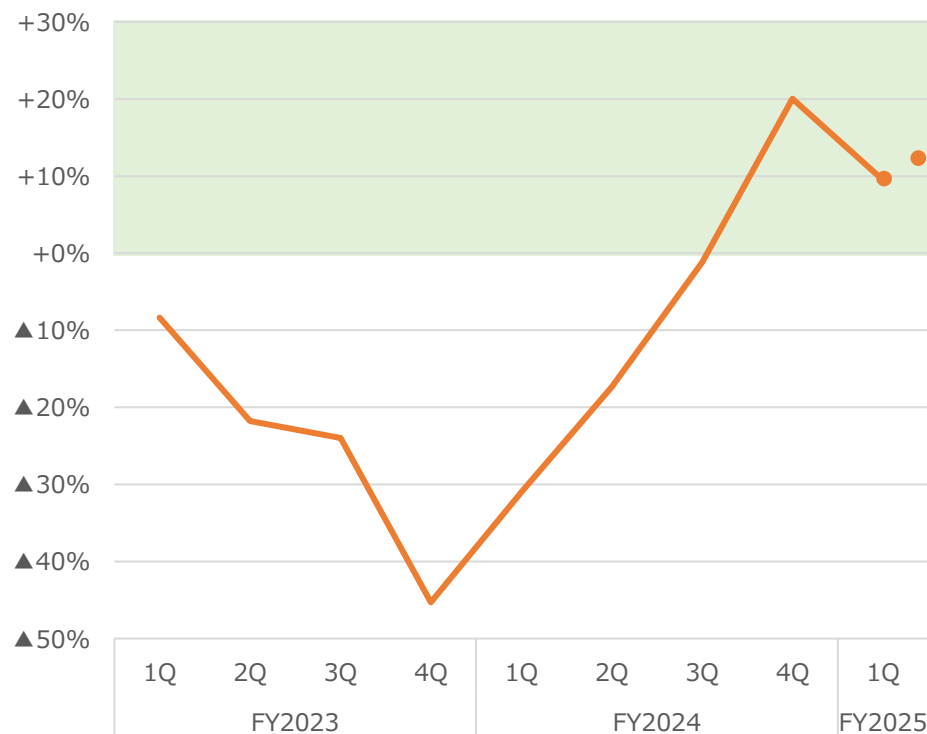
当社の状況（1Q）

日本	<ul style="list-style-type: none">関税影響を受けた自動車関連を、官庁/大学向けが補うLC、MS、NDIが伸長
北米	<ul style="list-style-type: none">製薬、臨床検査が好調。LiB評価向けも回復。MVS*の業績も貢献LC、MS、試験機が伸長
欧州	<ul style="list-style-type: none">改正飲料水指令に基づく規制対策が牽引MS、GCが伸長
中国	<ul style="list-style-type: none">政府支援策（官庁/大学向けが中心）、薬典改訂が牽引MS、表面観察装置が伸長
インド	<ul style="list-style-type: none">製薬/CRO、産業分野でLiB評価向けが好調LCが伸長

* マルチベンダーサービス：お客様が使用中の装置についての、製造元を問わず一社による一括したアフターサービス形態のこと

- 低迷を続けていた中国市場は、2四半期続けて対前年同期比プラス成長
- 官需：政府支援策もあり官庁/大学向けが好調
- 民需：全体としては弱いですが、製薬（薬典改訂とバイオ医薬関連で動きあり）や食品安全向けは成長

受注高前年同期比（為替影響を除く）



政府支援策

大規模な設備更新と消費財の
買い替えを推進する行動計画

- 引き続きアカデミア、税関が中心
- 中国国産品との競合がメイン
- 先期受注残を今期売上に展開

ヘルスケア / 製薬

FY2025 薬典改訂
2025年10月施行

- 重点管理物質や分析法を追加（新規/更新需要が拡大）
- 需要拡大は施行前後の約1年間
- 顧客にあわせたアプリケーションを強化

グリーン

生態環境監測標準体系を公布
PFASを含む14物質が対象

- 国家標準制定に向けて、政府系検査機関が分析メソッドを研究中（需要は限定的）
- 国家標準の制定および施行段階では、第三者検査機関を中心に需要拡大

新製品上市の状況

150
YEARS
ANNIVERSARY



高速液体クロマトグラフ質量分析システム
LCMS-8065XE
2025年8月発売

- 新開発技術により安定性と感度が向上
- ユーザー支援機能によりラボの効率運用に貢献
- PFAS分析向けトータルソリューションを提供
- PFAS分析に最適化した高感度モデル

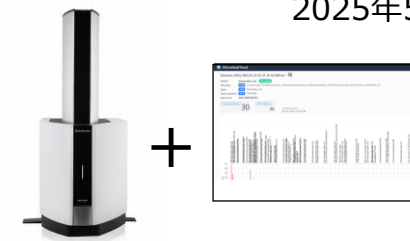


走査電子顕微鏡
SUPERSCAN SS-3000
2025年4月発売

* チェコTESCAN社との共同ブランド

- 高分解能観察と高い操作性を実現
- 材料表面の微細構造観察など、幅広い研究開発用途に有効

MALDI-TOFMS用微生物同定ソフトウェア
MicrobialTrack
2025年5月発売



- 感染症対策分野での戦略製品
- 全世界で高まる微生物同定向け検査需要に対応



回診用X線撮影装置
MobileDaRt Evolution MX9 Version
2025年4月発売

- 当社回診用X線撮影装置のフラッグシップモデル
- セカンドモニタと3Dカメラで検査効率化



精密万能試験機 オートグラフAGS-Vシリーズ
2025年5月発売

- 高精度で効率性と操作性を兼ね備えた普及機モデル
- 自動車用部品や電池材料などの研究開発・品質管理に貢献



マイクロプラスチック向け粒子解析システム
2025年8月発売

- 社会課題であるマイクロプラスチックの分析に最適なシステム
- 様々な分析計測機器と合わせて多角的な調査・研究に貢献

* 技術指導：愛媛大学片岡智哉准教授

03 2025年度通期業績予想

2025年度通期業績予想（関税影響を精査中）

- 米国関税政策の直接影響・間接影響は見直す予定
- 世界経済に与える8月以降の関税率改定影響を精査中のため、業績予想を据え置く

売上高	5,150 億円	対前期	▲240 億円	▲4 %
営業利益	580 億円	対前期	▲137 億円	▲19 %
経常利益	580 億円	対前期	▲140 億円	▲19 %
当期純利益	450 億円	対前期	▲88 億円	▲16 %

通期為替レート

米ドル：140円
ユーロ：155円

研究開発費

対前期

295 億円 +6 億円

設備投資

対前期

250 億円 +21 億円

減価償却

対前期

200 億円 +1 億円

関税影響

売上高 ▲250 億円 営業利益 ▲180 億円

2025年度通期セグメント別業績予想（関税影響を精査中）

・業績に貢献する新製品を10機種以上発売し、新たな価値を提供することで目標超過を目指す

- 計測：投資が進む市場での拡大、新製品投入による付加価値訴求で関税影響を最小限に抑える
- 医用：新製品によるX線機種と血管撮影システムを展開、保守契約拡大により成長を目指す
- 産業：半導体向けTMPの拡販とアフターサービス強化で成長を目指す
- 航空：好調な需要を背景に高い売上を維持、利益は防衛案件影響により減少を見込む

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2024	FY2025 予想	前期比		FY2024	FY2025 予想	前期比		FY2024	FY2025 予想	前期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	3,479	3,250	▲ 229	▲ 7%	521	425	▲ 96	▲ 18%	15.0%	13.1%	▲ 1.9pt
医用機器	726	730	+4	+1%	43	50	+7	+17%	5.9%	6.8%	+1.0pt
産業機器	723	730	+7	+1%	105	100	▲ 5	▲ 4%	14.5%	13.7%	▲ 0.8pt
航空機器	387	385	▲ 2	▲ 0%	61	35	▲ 26	▲ 42%	15.7%	9.1%	▲ 6.6pt
その他	76	55	▲ 21	▲ 27%	6	8	+2	+27%	6.4%	10.0%	+3.6pt
調整額	-	-	-	-	▲ 18	▲ 38	▲ 20	-	-	-	-
合計	5,390	5,150	▲ 240	▲ 4%	717	580	▲ 137	▲ 19%	13.3%	11.3%	▲ 2.0pt

(ご案内) 9/5 計測機器事業説明会 & JASIS島津ブースツアー

■ アジア最大級の分析・計測機器展示会「JASIS」会場にてアナリスト・機関投資家向け計測機器事業説明会を開催

開催日時 2025年9月5日 (金) 13:00 - 15:45

開催場所 幕張 + オンライン配信併用

プログラム

13:00 - 13:50 : 製薬業界向けソリューションのご紹介

13:50 - 14:30 : 質疑応答

14:45 - 15:45 : JASIS島津ブースご案内

プレゼンター 常務執行役員 分析計測事業部長 富田 真巳





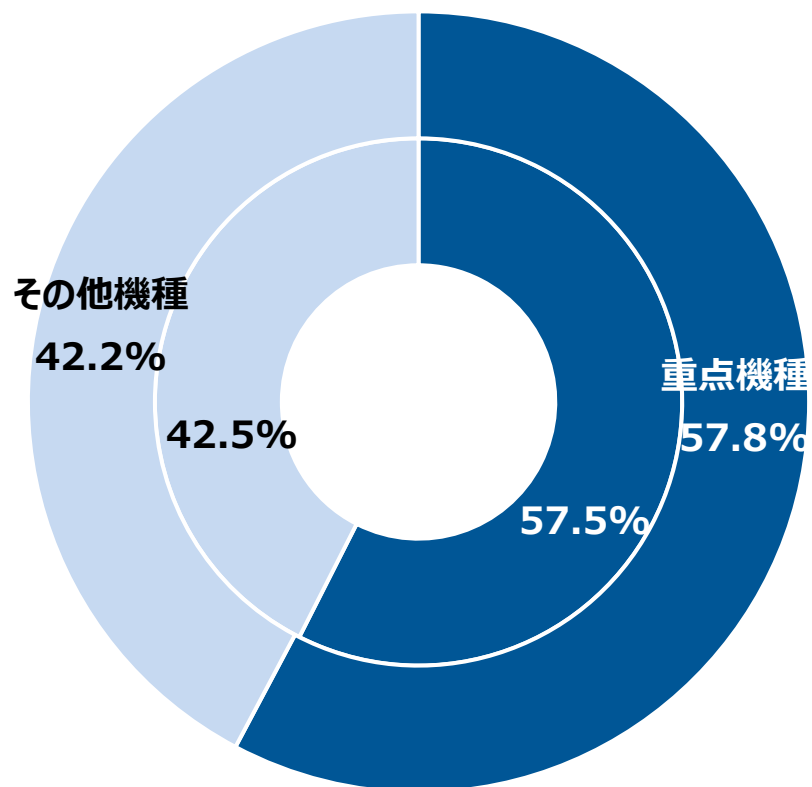
本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、
経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素に
より、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

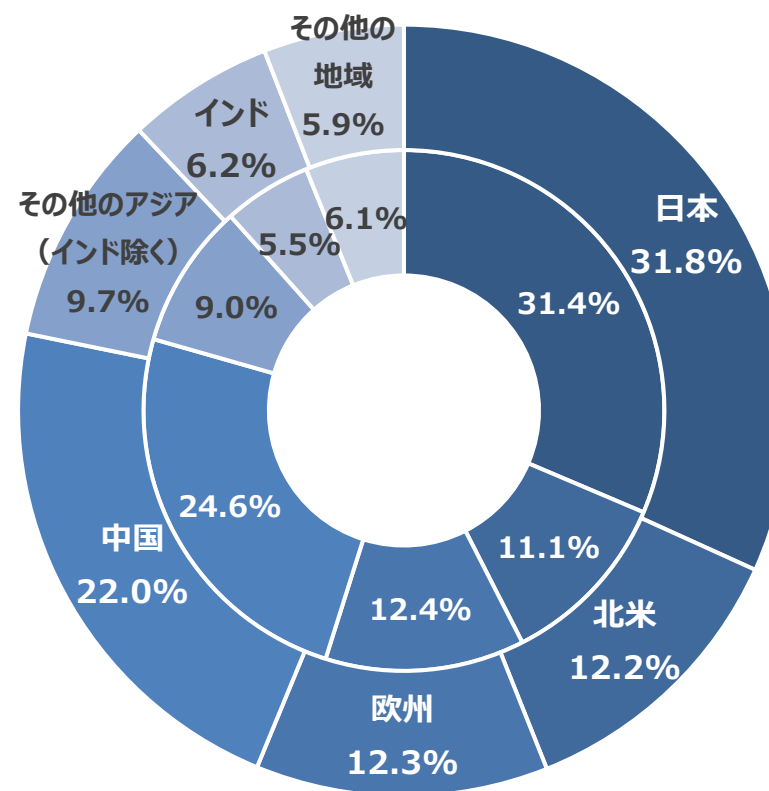
補足資料

計測機器 / 各種売上高構成比率（1Q）

機種別



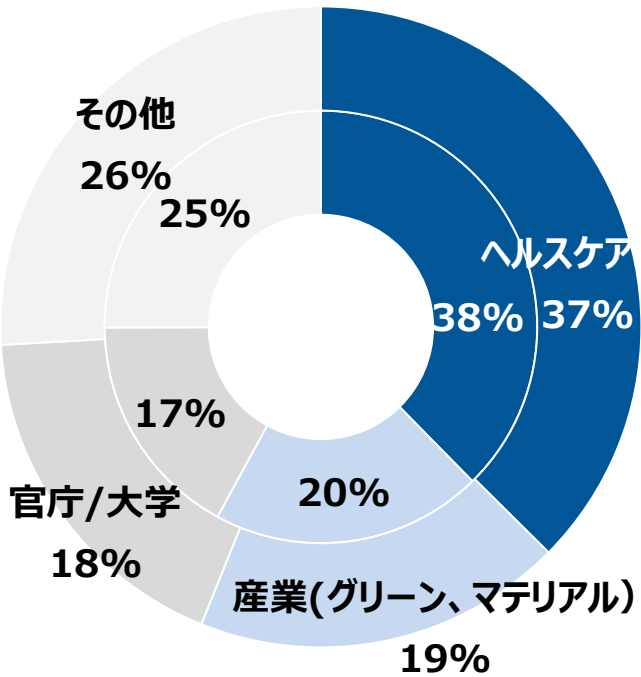
地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

計測機器 / 領域別売上高比率（1Q）

市場別売上高構成比



市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期比	概況
	FY2024	FY2025		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	38%	37%	+2%	・医薬は北米・欧州・東南アジア・インドで増加 ・臨床（医療機関）は北米で増加するも、中国・欧州で減少 ・中国を除きグローバルで増加
産業 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	20%	19%	▲6%	・日本で関税影響により自動車関連が減少 ・北米で石油化学向けにGCが増加
アカデミア・官庁	17%	18%	+9%	・北米は政策影響で引き続き低調 ・官庁/大学向けに表面観察システムが伸長

※円グラフ： 外側 FY2025実績 内側 FY2024実績

計測機器 / 重点機種売上高前年同期比



- 重点機種
- L C : 日本で化学向け増加。中国で民需停滞により減少
M S : 北米で臨床向けが大きく増加。日本・インドでは医薬・食品向けに増加
G C : 欧州で化学向け増加。中国で民需停滞により減少

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
	+18%	+13%	+12%	▲2%	+10%	+3%	▲2%	+2%	+8%	+3%	+3%
重点機種全体	+16%	+10%	+6%	+2%	+7%	+3%	▲1%	+4%	+4%	+3%	+3%

為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
	+12%	+8%	+7%	▲10%	+4%	▲6%	▲5%	▲0%	+6%	▲1%	+9%
重点機種全体	+11%	+6%	+2%	▲4%	+3%	▲5%	▲3%	+3%	+3%	▲0%	+7%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器 / 地域別売上高



単位 億円	FY2024	FY2025	前年同期比		概況
			増減額	増減率	
日本	232	241	+9	+4%	・化学向けで研究開発・品質管理用途に液体クロマトグラフが増加 ・食品、大学向けに質量分析システムが増加
海外	506	517	+11	+2%	・海外売上高比率は68.6%から68.2%へ微減
北米	82	92	+10	+13%	・臨床検査向けで質量分析システムが増加 ・石油化学向けでガスクロマトグラフが増加
欧州	91	93	+2	+2%	・化学向けで小型・高性能が評価されガスクロマトグラフが増加
中国	181	167	▲15	▲8%	・政府の景気支援策により官公庁・大学の需要は回復傾向 ・民間市場の回復遅れの影響を受け液体クロマト分析システムをはじめ全体的に減少
その他のアジア (インド除く)	66	74	+8	+11%	・東南アジア、韓国で官庁・大学向けに質量分析システムが増加
インド	40	47	+6	+16%	・医薬、食品向けで、質量分析システムが増加

計測機器 / 地域別売上高前年同期比

- 日本：化学向けにLC、食品・大学向けにMSが増加
- 海外：北米は臨床向けにMSが大幅増加。中国は民需が停滞も、回復傾向

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%
北米	+1%	+4%	▲4%	+7%	+2%	+13%	+13%	+21%	+11%	+14%	+13%
欧州	+20%	+27%	+21%	+10%	+19%	+8%	+4%	+3%	+7%	+5%	+2%
中国	+31%	▲4%	+6%	▲21%	+1%	▲5%	▲19%	▲10%	▲2%	▲9%	▲8%
その他のアジア	+15%	+20%	+20%	+11%	+17%	+4%	+3%	+1%	+13%	+5%	+13%
インド	+27%	+14%	+32%	+8%	+20%	+20%	+25%	+4%	+24%	+17%	+16%

為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%
北米	▲4%	▲1%	▲8%	▲4%	▲4%	▲0%	+9%	+17%	+7%	+8%	+22%
欧州	+11%	+13%	+10%	▲3%	+8%	▲4%	▲0%	+0%	+7%	+1%	+4%
中国	+24%	▲9%	+2%	▲31%	▲5%	▲16%	▲21%	▲12%	▲4%	▲14%	▲1%
その他のアジア	+10%	+15%	+15%	▲0%	+10%	▲7%	▲0%	▲1%	+12%	+1%	+21%
インド	+20%	+9%	+26%	▲4%	+12%	+6%	+20%	+0%	+21%	+11%	+25%

※CxO: CRO、CMOならびにCDMO

計測機器 / 領域別売上高前年同期比

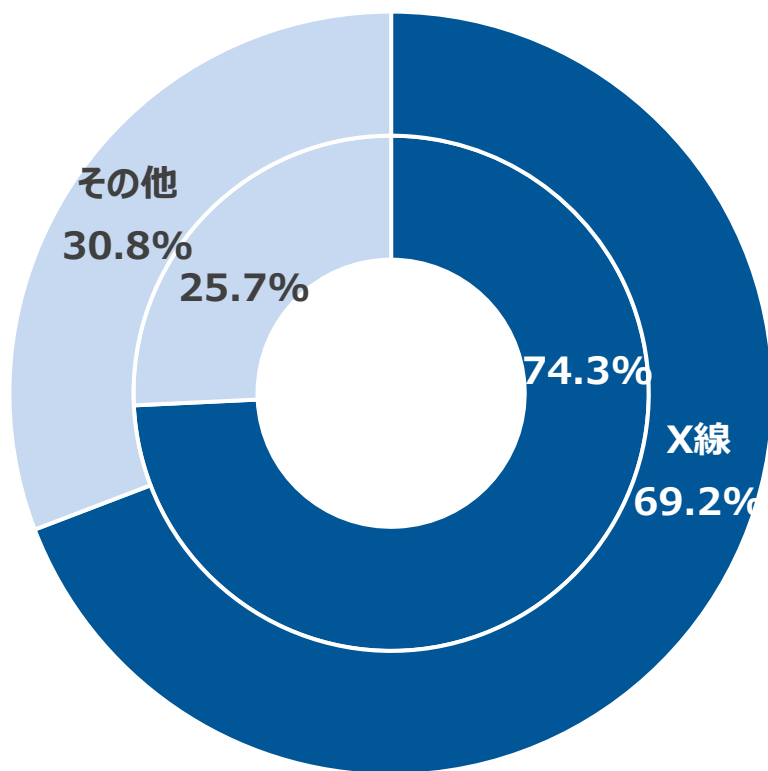


	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
ヘルスケア	+24%	+7%	▲4%	▲8%	+3%	+1%	▲4%	+5%	+11%	+3%	+2%
産業 (グリーン、マテリアル)	+15%	+8%	+6%	+5%	+8%	+7%	+2%	+2%	+8%	+5%	▲6%
アカデミア/官庁	+20%	+25%	+23%	▲2%	+14%	▲2%	▲8%	▲8%	▲7%	▲6%	+9%

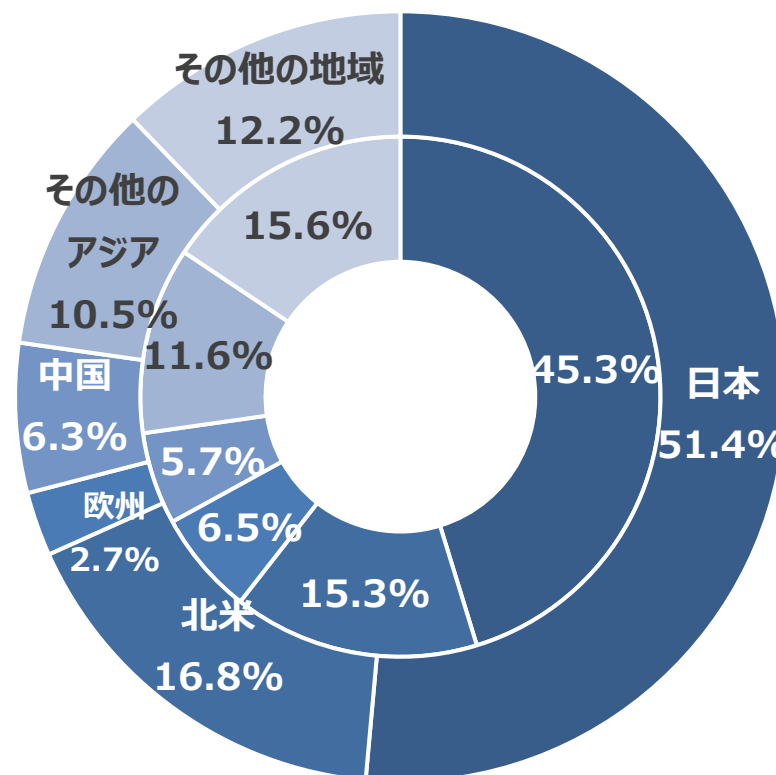
※為替影響を含む

医用機器 / 各種売上高構成比率（1Q）

機種別



地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

医用機器 / 地域別売上高

単位 億円	FY2024	FY2025	前年同期比		概況
			増減額	増減率	
日本	70	70	+0	+1%	・放射線治療支援システムが増加 ・市況回復の遅れによりX線機種が全体的に減少
海外	85	66	▲18	▲21%	・海外売上高比率は、49%と前年同期比6pt減少
北米	24	23	▲1	▲2%	・X線TVシステムや血管撮影システムが新製品効果で伸長したものの、 ・為替影響で減少
欧州	10	4	▲6	▲63%	・東欧での官公庁予算執行の遅延により減少
中国	9	9	▲0	▲3%	・X線TVシステムや一般撮影システムが設備更新政策により回復傾向に 転じたものの、為替影響で減少
その他の アジア	18	14	▲4	▲20%	・顧客都合による据付遅れなどで、血管撮影システムや一般撮影システム が減少

医用機器 / 地域別売上高前年同期比

- 国内：市況回復遅れの影響を受けX線機種は減少したものの、放射線治療支援システムが増加
- 海外：欧州が市況停滞で大幅減、北米・中国は為替影響により減少

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%	▲5%	+3%	▲1%	+1%
北米	▲18%	+11%	▲2%	+0%	▲1%	+37%	▲8%	▲6%	+40%	+14%	▲2%
欧州	+16%	▲7%	+41%	+0%	+12%	+11%	▲30%	+3%	▲44%	▲14%	▲63%
中国	+24%	+38%	+7%	▲5%	+15%	▲36%	▲29%	▲36%	▲22%	▲31%	▲3%
その他のアジア	+20%	▲28%	+10%	+27%	+3%	+15%	+47%	+1%	+16%	+19%	▲20%

為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%	▲5%	+3%	▲1%	+1%
北米	▲23%	+6%	▲6%	▲10%	▲7%	+21%	▲12%	▲8%	+35%	+8%	+5%
欧州	+7%	▲18%	+28%	▲11%	+1%	▲1%	▲32%	▲1%	▲42%	▲17%	▲62%
中国	+17%	+32%	+3%	▲17%	+8%	▲43%	▲32%	▲37%	▲24%	▲34%	+5%
その他のアジア	+14%	▲31%	+6%	+16%	▲2%	+5%	+41%	▲0%	+13%	+14%	▲14%

産業機器 / 機種別売上高前年同期比

- TMP : 半導体製造装置向けが増加
- 油圧 : 産業車両向けが軟調
- その他機種 : 自動車用セラミック部品製造向け工業炉が減少

為替影響 を含む	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
TMP	▲3%	+0%	▲0%	+15%	+3%	+27%	+7%	+10%	+12%	+14%	+3%
油圧	+10%	+8%	▲4%	+1%	+3%	▲4%	▲4%	▲2%	▲1%	▲3%	▲3%
その他	▲2%	+2%	+10%	+11%	+6%	+29%	+42%	+7%	▲16%	+12%	▲19%

為替影響 を除く	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
TMP	▲7%	▲4%	▲4%	+6%	▲2%	+17%	+5%	+9%	+11%	+10%	+8%
油圧	+9%	+7%	▲6%	▲2%	+2%	▲7%	▲5%	▲3%	▲1%	▲4%	▲1%
その他	▲4%	+1%	+8%	+6%	+3%	+22%	+40%	+5%	▲16%	+10%	▲16%

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を、「産業機器」へ移管。
FY2024およびFY2023の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で、FY2024/FY2023の前期比較においては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較。

リカーリング比率

- 計測 : 北米で臨床向けメンテナンス・サービスが増加
- 医用 : 北米でサービス網強化によりメンテナンス・サービスが増加
- TMP : 台湾、韓国で顧客カバー率向上により増加

計測	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前期比	+10%	+3%	▲4%	▲2%	+1%	+0%	+4%	+10%	+7%	+6%	+10%
リカーリング比率	39%	35%	37%	34%	36%	41%	38%	40%	35%	38%	42%

医用	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前期比	▲3%	▲7%	+1%	+0%	▲2%	▲1%	+0%	▲0%	+4%	+1%	+6%
リカーリング比率	42%	34%	37%	33%	36%	41%	36%	40%	34%	37%	47%

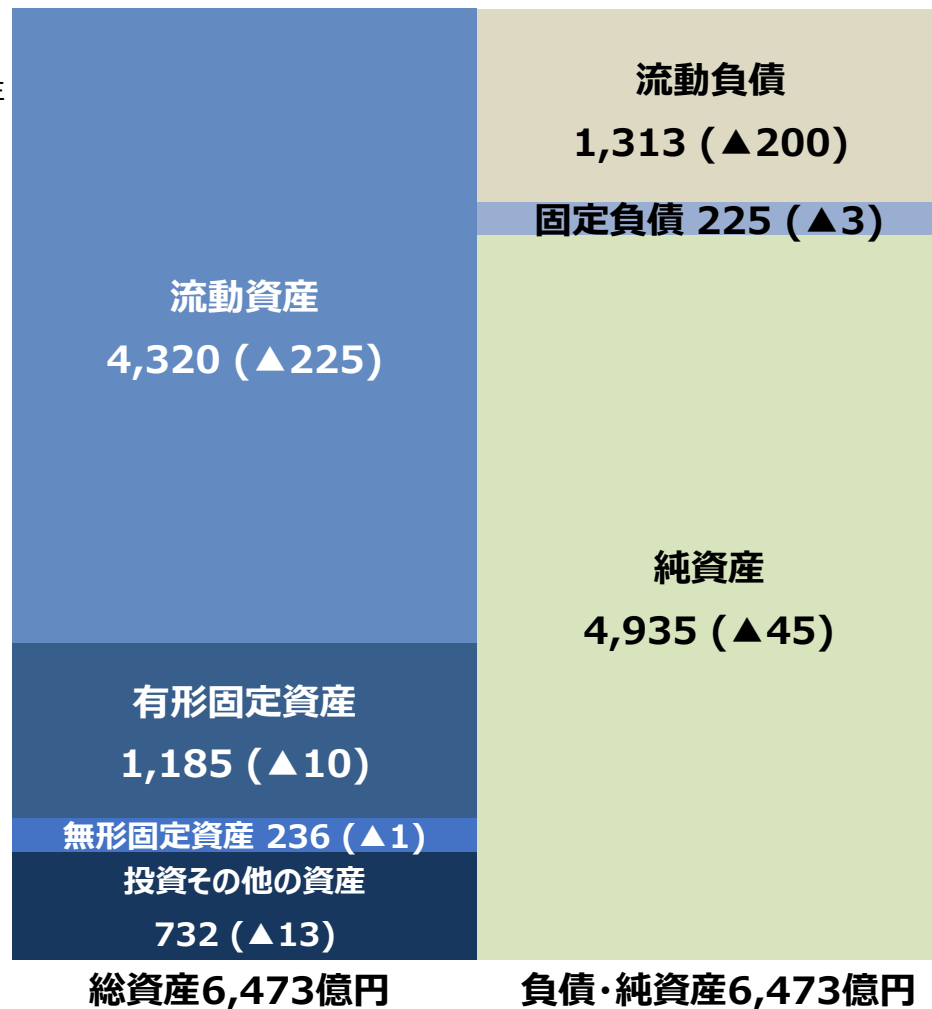
TMP	FY2023					FY2024					FY2025
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前期比	▲9%	▲8%	+10%	+36%	+6%	+46%	+50%	+34%	+28%	+38%	+24%
リカーリング比率	15%	14%	18%	17%	16%	19%	19%	22%	19%	20%	21%

※為替影響を除く

連結財政状態

- 2025年6月末総資産 6,473億円（2025年3月末から▲249億円）
- 売上債権の回収により、流動資産が減少

(億円)
増減は2025年
3月末対比



資産

流動資産 ▲225億円

- 売上債権 ▲250億円

負債・純資産

流動負債 ▲200億円

- 賞与引当金 ▲79億円
- 支払債務 ▲58億円

純資産 ▲45億円

- 利益剰余金 ▲39億円